

## ごあいさつ

平素より、私ども南都銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび皆さまに平成22年9月期の業績や当行の取組みなどをお伝えするため、「ミニディスクロージャー誌／第123期営業の中間ご報告」を作成いたしました。ご一読いただきご参考にしていただければ幸いに存じます。

わが国経済の状況は、米国をはじめとする海外経済の先行き不透明感の高まりを背景とした急激な円高やそれに伴う株価の不安定な動きを背景に下振れが懸念されることから、日本銀行は本年10月、景気後退回避に向けた一段の金融緩和政策を実施しました。

奈良県を中心とする地元経済につきましても、住宅着工件数や個人消費、雇用情勢などが依然低迷するなど、総じて厳しい状況にあるなか、平城京遷都から1300年の節目にあたる本年は、年間を通じて奈良県全域を舞台に国家的事業「平城遷都1300年祭」が開催されました。当行は地元金融機関としてこの事業をさまざまな面から積極的に支援してまいりましたが、メイン会場である平城宮跡会場の入場者数が当初想定 の250万人を大きく上回る363万人となるなど大変好評を博し、おかげさまで県内のみならず近畿圏も含めて多大な経済波及効果を得ることができました。

企業の資金需要の低迷や銀行間の競争激化など、当行の経営を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、当行は今後とも持てる機能を最大限に発揮し、地域密着型金融の一層の推進に取り組むことにより、地域経済の活性化を通じた収益基盤の強化に努めるとともに、「地域とともに成長する銀行」として、金融の円滑化はもとよりコンプライアンスやお客さま保護の徹底、お客さま満足の向上などの社会的責任を積極的に果たしてまいります。



平成22年12月

取締役頭取 **植野康夫**